

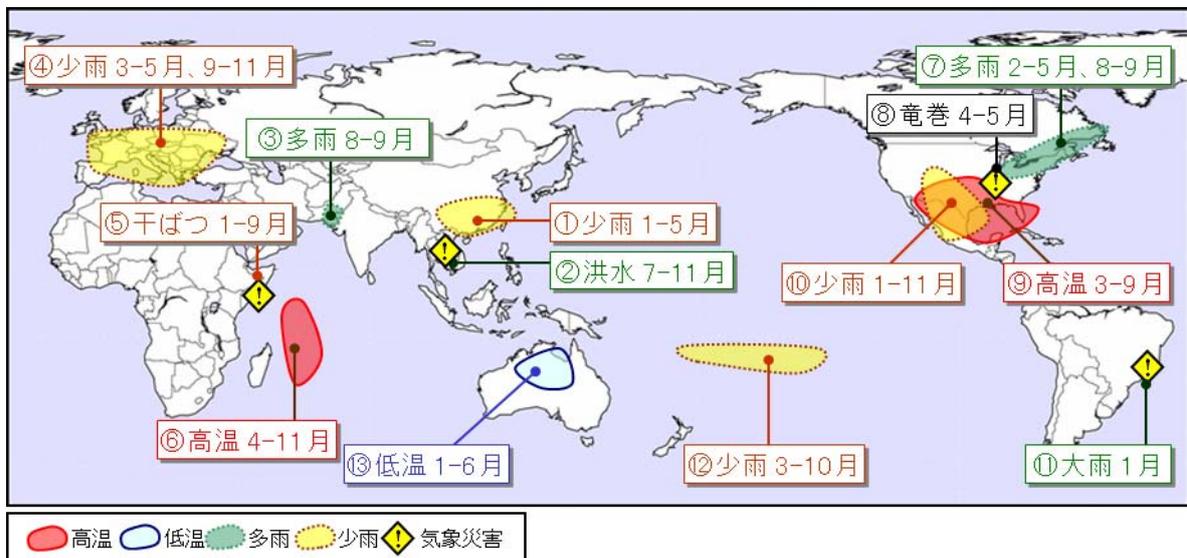
2011年（平成23年）の世界の天候（速報）

～主な異常気象と気象災害～

本資料は、世界各国からの11月までの気象通報データをもとに、速報としてまとめたものです。確定値による資料は、平成24年1月16日に、気象庁の世界の天候のホームページで発表します。

- 米国南部～メキシコ北部では、長期にわたり異常高温（3～9月）、異常少雨（1～11月）となった。
- ブラジル南東部の大雨（1月）、パキスタン南部の多雨（8～9月）で、気象災害が発生した。インドシナ半島では、雨季をつうじて雨が多く、洪水が発生した（7～11月）。また、アフリカ東部では干ばつ（1～9月）が発生した。

2011年に発生した主な異常気象・気象災害は以下のとおり。



世界の主な異常気象・気象災害（2011年（平成23年）1月～11月）

異常気象の規模が比較的大きかったものや、異常気象とは言えないが被害が大きかったものを「気象災害」として、おおよその地域・時期を示した。図中の番号は概況文の番号と対応している。

- ※ 異常気象：ここでは、月平均気温や月降水量において、その地点として30年に1回程度以下の稀な現象のことを指す。
- ※ 災害の被害情報：米国国際開発庁海外災害援助局とルーベンカトリック大学災害疫学研究所（ベルギー）の災害データベース（EM-DAT）や、国連の報道機関（IRIN）、各国の政府機関の発表等に基づいている。
- ※ 気象庁ホームページでは週ごとや月ごとに世界の天候の資料を更新している。
<http://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/monitor/>

- ① **中国南東部の少雨（1～5月）** 中国南東部では、1月から5月にかけて、異常少雨となった。シャンハイ（上海）では1～5月の5か月間降水量が143mm（平年比37%）だった。
- ② **インドシナ半島の洪水（7～11月）** インドシナ半島では、雨季を通して平年より雨の多い状況が続き、5～10月の6か月間降水量は、タイ北部のチェンマイで1284mm（平年比133%）、タイの首都バンコクで1910mm（同133%）、ラオスの首都ビエンチャンで2080mm（同141%）になるなど、インドシナ半島のほとんどの地点で平年の約1.1倍から1.7倍の雨となった。7月以降、チャオプラヤ川やメコン川の流域で洪水が発生し、タイでは700人以上、カンボジアでは240人以上、ベトナムでは40人以上が死亡した、と伝えられた。
- ③ **パキスタン南部の多雨（8～9月）** パキスタン南部は8月末から9月前半にかけて大雨で、9月は異常多雨となった。シンド州のカラチ国際空港では9月の月降水量が213mm（平年比2068%）だった。シンド州全体では、洪水により480人以上が死亡した、と伝えられた。
- ④ **ヨーロッパの少雨（3～5月、9～11月）** ヨーロッパでは、3月から5月と9月から11月に異常少雨となった。フランスのパリ/オルリー空港では3～5月の3か月間降水量が23mm（平年比16%）、ポーランドの首都ワルシャワでは9～11月の3か月間降水量が16mm（平年比13%）だった。
- ⑤ **アフリカ東部の干ばつ（1～9月）** ソマリアなどアフリカ東部では、この60年で最悪の干ばつで1千万人以上が影響を受けている、と伝えられた。
- ⑥ **セイシェル～モーリシャスの高温（4～11月）** セイシェルからモーリシャスでは、4月から11月にかけてたびたび異常高温となった。セイシェル国際空港では7月の月平均気温が27.2℃（平年差+1.1℃）だった。
- ⑦ **米国北東部及びその周辺の多雨（2～5月、8～9月）** 2～5月は低気圧や前線の影響を受け、また、8～9月は低気圧や前線にくわえハリケーン「アイリーン」の影響を受け、それぞれ異常多雨となった。米国オハイオ州ヤングスタウンでは2～5月の4か月間降水量が645mm（平年比210%）、ペンシルベニア州アレンタウンでは8～9月の2か月間降水量が672mm（平年比311%）だった。
- ⑧ **米国南東部・中部の竜巻（4～5月）** 米国南東部では、4月下旬に300個以上の竜巻が発生し、350人以上が死亡したと伝えられた。また、米国ミズーリ州ジョプリンを、5月22日に強い竜巻（EF-5）が襲い、単一の竜巻としては1950年の統計開始以降で最多となる150人以上が死亡したと伝えられた。
- ⑨ **米国南部及びその周辺の高温（3～9月）** 米国テキサス州オースティンでは、3～5月の3か月平均気温が23.1℃（平年差+2.8℃）、6～8月の3か月平均気温が31.9℃（平年差+3.3℃）だった。米国南部ではテキサス州などで1895年以降で最も暑い夏になったと伝えられた。
- ⑩ **米国南部～メキシコ北部の少雨（1～11月）** 1～11月の総降水量は、米国テキサス州アマリロ国際空港では143mm（平年比28%）、メキシコのサカテカス州サカテカスでは173mm（平年比33%）だった。6月には、米国南部や南西部で複数の大規模な森林火災が発生し、アリゾナ州ではアリゾナ史上最大の森林火災が発生した、と伝えられた。また、11月にはメキシコ北部で深刻な干ばつが発生し、約250万人もの飲

み水に影響を及ぼしている、と伝えられた。

- ⑪ **ブラジル南東部の大雨（1月）** リオデジャネイロ州では、1月中旬、山間部を中心に集中豪雨に見舞われ、洪水や地滑りによる被害が発生したと伝えられた。このため、800人以上が死亡したと伝えられた。同州のノバフリブルゴでは、1月11～12日の2日間降水量が270mmに達した。
- ⑫ **ポリネシア中部の少雨（3～10月）** 3～10月の総降水量は、タヒチ島/ファアアでは309mm（平年比40%）だった。9月には、ツバルやトケラウ諸島の人々が、水不足による被害を受けていると伝えられた。
- ⑬ **オーストラリア北部の低温（1～6月）** オーストラリア北部では、1月から6月にかけて、南からの寒気の影響でたびたび異常低温となった。オーストラリア北部のマウントアイザでは、5月の月平均気温が17.6℃（平年差-3.5℃）だった。

[この件に関する連絡先：気象庁 地球環境・海洋部 気候情報課 03-3212-8341 内線3157]